

令和4年度 甲府市立甲府商業高等学校学校評価報告書(自己評価・学校関係者評価)

学校目標・経営方針	民主的で平和な国家社会の形成者として、心身ともに健全な個人の人格完成を目指し、かつ知・徳・体の兼ね備わった近代人の育成を図る。個々の能力や個性の伸長を図り、責任を重んじ勤労を尊び、社会の進展に即応できる専門的識見と進取の態度を養う
本年度の重点目標	<p>1. 主体的な学びによる学力向上</p> <p>(1)自ら学習に取り組む態度を育てます。 (2)実践的・体験的な学習活動に取り組めます。 (3)教育活動全般を通じて、商業教育を行います。 (4)高い資格を取得するための力を養います。</p> <p>2. 社会で活躍できる人づくり</p> <p>(1)勉学と部活動の両立を図り、心身ともに健全な人づくりを推進します。 (2)地域や企業と連携し、地域社会を活性化する活動に取り組めます。 (3)社会人・職業人として自立するために必要な能力や態度を向上させる教育を実践します。 (4)就職や大学等の進学に向け、個々の進路希望に応じた指導を丁寧に行います。</p>

甲府市立甲府商業高等学校校長 三枝 正人

評価	4	良くできている。
	3	できている。
	2	あまりできていない。
	1	できていない。

自己評価			年度末評価(令和5年1月31日)		
本年度の重点目標			自己評価結果		
番号	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	達成度	成果と次年度への課題・改善策
1	主体的な学びによる学力向上	<p>・基礎学力の定着と、主体的に学ぶ態度の養成のための指導方法の工夫や改善を図る。</p> <p>・主体的・対話的で深い学びの授業を展開する。</p> <p>・今年度入学生より観点別評価を導入し、各教科で評価方法を順次構築する。</p> <p>・3年生「課題研究」において、「山梨を知る」テーマでこれまでの学習を基礎にして、実践的・体験的な学習を通して、生徒が自ら課題を発見・解決する過程を通して、サポートをしながら主体的に物事に取り組む、探究する力を育てる。</p> <p>・授業方向性に向けた校内研修、授業観察の充実を図る。</p> <p>・職員は授業改善への意識を高める。</p> <p>・ICT機器を活用した教育方法を研究を進め、今年度入学生から実践する。</p> <p>・授業を大切しながら節目節目での検定試験を利用し、学力向上を確認する。学力に応じたきめ細かい指導をする。</p> <p>・高度資格試験合格への支援体制を進める。</p>	<p>・相互授業参観及び研究授業の実施</p> <p>・授業アンケート</p> <p>・探究学習の実施及び振り返りシート</p> <p>・課題研究発表会</p> <p>・授業振り返りシート</p> <p>・指導案、相互授業参観による研修</p> <p>・授業アンケート</p> <p>・各種検定合格状況</p> <p>・授業アンケート</p>	A	<p>・基礎学力の定着が必要な生徒に対するアプローチとして1年次においてパート展開ができる体制をとれるよう配慮している。</p> <p>・授業における生徒への働きかけを考え、主体性を高めるための提供できる教材の工夫を教科ごとで行っている。</p> <p>・本年度入学生の評価において、各教科において小テストの実施や授業内容に検討を行い、対応した。</p> <p>・3年生の「課題研究」において、全員が地元山梨について課題を発見・解決するための実践的体験的学習を計画、実施した。山梨全般を学んだ後、生徒の関心が強い分野に分かれて、探究学習に取り組んだが、コロナの影響で、調査を進められず、製品開発制作等が不十分になったのは残念であった。一方生徒は地元へ関心をもち、課題を考え解決策を導くプロセスや、探究した内容を発表することでプレゼンテーション力を向上させた。</p> <p>・校内研修会を計画立案し、4回実施した。相互授業参観も期間を設定し、3回実施した。相互授業参観ではICT機器を効果的に利用している先生方の授業を参観する先生も多く、授業のアイデアを共有できた。</p> <p>・相互授業参観を元に行った校内研修会では、BYODの使用法やアクティブラーニングについての実践的な学びを相互にすることができ、授業改善につながった。</p> <p>・1年生から観点別評価が導入され、教科書の単元終了時など適切な時期に小テストや振り返りを行い、授業の理解度や習熟度を目に見る形で生徒と教師で共有し、次のステップに進むように進めてきた。結果として、検定合格者も昨年度と比べ増加した。</p> <p>・高度資格試験への対策は、受験料が高額で、安易に受験を勧められないが、自前筆記試験やAI入試試験に対応した授業も実施しており、数名が実際に受験している。</p>
2	社会で活躍できる人づくり	<p>・主体的に活動計画を立てて実践するとともに、委員会活動をより活発に展開することにより、豊かな人間性を育成する。</p> <p>・部活動ガイドラインの遵守を図る。</p> <p>・「探究学習」の時間を用いて、経済や社会に興味関心をもてる講習会を実施し、「甲商デパート」の開催に向けて、商業の魅力、プレゼンテーション技術、ビジネスマナー等の商業活動を多面的かつ実践的に学び、商業と実学を結びつけ、社会で活躍できる人づくりを行う。</p> <p>・道徳教育を通して交通ルール・マナーを含めた規範意識や社会性の高揚を図る。</p> <p>・交通事故違反件数を昨年度の80%(22件)以内を目指す。</p> <p>・基本的な生活習慣を身につけさせ、時間厳守の徹底を図る。</p> <p>・挨拶の励行を図る。</p> <p>・生徒一人一人の適性に合った細やかな指導を行い、就職・進学とも100%希望通りの進路実現をさせる。</p> <p>・保護者への情報提供の機会を充実させる。</p>	<p>・学校評価アンケート</p> <p>・高度な専門教育の推進とフィードバック</p> <p>・学校評価アンケート</p> <p>・HRIにおける道徳教育の推進とフィードバック</p> <p>・毎日の登校指導の実施と指導の徹底</p> <p>・交通安全指導と交通事故、違反者への指導の徹底</p> <p>・面接、小論文指導の充実</p> <p>・模擬試験の活用</p> <p>・ガイダンス参加のサポート</p> <p>・保護者説明会の実施</p>	A	<p>・甲商デパートまでの探究学習では、商売をすることの魅力、言葉による効果的なプレゼン方法、商品陳列方法、保健衛生、接客とマナー、POP作成などをテーマに、講師の方に来て頂いて学習した。生徒の感想からは、実際の販売で役立つ方法を学んで視野が広がった様子である。</p> <p>・甲商デパート実施後は、山梨で何百年に渡り事業を続けてきた企業の方に講演をして頂き、商売の奥深さを学んだ。また3月には画期的な経営方針で全国的に有名なスーパーを生み出した方に講演をして頂く予定である。</p> <p>・全生徒に向けての講話や先生方の御指導により、身なりや挨拶、時間を守るといった規範意識や社会性の高揚が見受けられた。</p> <p>・しかし、交通事故件数は現時点で24件で、左記の目標を達成することができなかった。また、交通マナーに関する苦情の連絡は無くなかった。</p> <p>・生徒一人一人に教員一人人がついて、小論文や面接を担当する指導方法や、ワークを用いた時事問題に取り組みの際の「自分で考え書く」の徹底という指導方法は継承しつつ、さらに今年度は、先生方にも指導のためのオンライン教材の提供の機会を提供した。</p> <p>・オンラインによる説明会により、県外の大学と繋がる機会を創出した。</p> <p>・企業側の来校による校内企業説明会の実施。</p> <p>・卒業後のイメージを持つため、各大学・企業で活躍している卒業生に学びや仕事の様子について話してもらった機会を設けた。</p>

学校関係者評価		
実施日(令和5年2月17日)		
評価	意見・要望等	
4	<p>・基礎学力の定着は、全てにおいての基本となるので、各教科で共通認識を持って取り組んでいただきたい。</p> <p>・進学や就職前に必要とされる基礎知識(学力)の向上を図る計画的な教育課程の編成であるようにしていただきたい。</p>	
4	<p>・課題研究発表会は、生徒が主体的に考える力を育成するのに有効である。</p> <p>・地域(故郷)を知ることはとても大切なことと思う。下級生に向けて発表する機会を設けることで、さらに学ぶ意欲が増すと思う。</p> <p>・実践を通じた学習を理論的に考察した内容を発表する場として、掲示板等の活用を考慮に入れてはどうか。</p>	
4	<p>・ICTの活用を進展させる研究と取り組みを願いたい。</p> <p>・生徒を指導する先生方の指導力向上が、生徒の学力向上には欠かせない。</p>	
3	<p>・多数の生徒が1級級の検定試験に合格しているが、それが結果的に進路実現につながっていると感じた。</p> <p>・コロナだから、と後ろ向きにならない。そういう状況だからこそ、どう検定試験に意欲的に立ち向かうかが、先生方が生徒に対する気持が伝わってほしい。</p> <p>・観点別評価の導入が効果的であると証明された結果をさらに改善し、実施していただきたい。</p>	
4	<p>・部活動の教育的効果は計り知れないものがある。顧問の先生方の努力が報われるよう期待したい。</p> <p>・活動時間に制約があったが、目標に向かって取り組むことが大事なので、今後とも顧問、担任の先生方の温かい指導をお願いしたい。</p>	
4	<p>・ビジネスを学ぶ専門高校として、探究学習は欠かせない。より実践的な取り組みになるよう発展させて欲しい。</p> <p>・アイテムセットのような大きな会場でできたことは素晴らしい。学校側としては準備、催行費等が難しいところが多いと思うが、今後もアイテムで開催できたら、一般の方への販売も大きなものとなることが期待できる。</p> <p>・図書館の蔵書が全体的に古いと感じる。甲商デパートの場で古くなった蔵書の売却をし、新しいものを入れ替える、というのはいかがでしょうか。電子書籍を閲覧するためのタブレットなどの利用も検討していただきたい。</p>	
3	<p>・生徒の安心安全が最も大切であり、継続して指導にあたっていただきたい。</p> <p>・し通学時の事故防止対策として二輪専用のドライブレコーダーの実証実験を検討してはいかがでしょうか。</p> <p>・通学時の交通マナーについて外部からの注意も入ることがあるということに対して、継続して指導にあたって欲しい。</p> <p>・学校、保護者、地域の皆様と協力して、生徒の指導を続けて欲しい。</p>	
4	<p>・就職、進学に向けた、先生と卒業生の対話式のガイダンスを在校生向けに企画し、より実践的に授業に取り組める意欲の向上に資する機会を企画していただきたい。</p> <p>・本校の卒業後の進路状況を中学生やその保護者に理解してもらおうと、入学希望者を増やす機会になるのではないか。入学後も卒業生の話を聞く機会を継続することで、進路実現への意識が向上すると思う。</p> <p>・特に4年制大学への進学率が高いことを外部へのPRを積極的に行っていただきたい。</p>	

※(1)重点目標と評価項目については、各学校の現状と課題に基づき、実情に合わせて重点化し、設定する。

(2)学校関係者評価については、年度当初に今年度の重点目標の現状と具体的な対策を説明し、評価に必要な情報提供を計画的に行う。学校関係者評価実施日は、最終回の学校評価委員会等を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。